

## 【あい保育園国吉田】

### ●2022.11.25 ふりかえり(スタッフ3名)

まこ:水色チームは初めはね、私はあっちに行こうって思ってたけど、もうみんながこっちに行きたいって感じで流れてきて。初めね、「これ何？」って、あの木道の剥がれた、あの破片、あのフカフカとかが不思議だったみたいで。それに食いついたので、とりあえずそれで五感のやつをやってみて、で もうこっからどうしようかなって思った時に、オオバコがあったから、オオバコ相撲を先生が知ってて、一緒にスタートして、したら、みんなちょっと「どこにある、どこにある」みたいな感じでオオバコをまず探して、自分たちで遊んでみるっていうのが始まって。で、1人が「これでなんか作れそう」ってなんか丸めたりしようとしてたから、「あ、なんかできそうだね」って言ったけど、ちょっとまあそこで諦めちゃったから、こう輪っかにして、「あ、指輪ができた」って見せたら、「おお～」みたいな感じで、なんか「あ、そういうのができるんだ」みたいな感じで、他の子達も見えてくれて。で、そのオオバコも、種になってるのとかに気づいてくれて、「これは何？」って。すぐ横の「これは何？」ってもう茶色くなって種になっちゃってる、もうポロポロ落ちちゃったやつを言ってくれたので、そこで虫めがねを出して「ちょっと見てみようか～」って言って、「これはまだ硬い実だね」って言って、「弾けたここから種がこぼれるみたいだよ」っていう話をして。まあ食いつく子と、食いつかない子といたんだけど、まだ相撲で遊んでる子とそれを見つけた子の近くでちょっと共有したって感じで。で、もうそれからみんなもうあっち行きたいこっち行きたいって、「じゃあ、どっちに行く？」って言ったら、「そこはトトロのトンネルみたいだね」って先生が言ってくれたので、「じゃ、みんなで入ってみよう」って言って。もうポストに食いついたから、「これなんだ？」ってことで。「これね、お手紙が書ける葉っぱなんだよ」っていうところから、「じゃ、この葉っぱ探してみよう」って言って、やっぱりすぐ見つかった子と見つかんなくて違う葉っぱで書いてる子もいて、「なんでだろうね」って言ったら、「あ、これはツルツルじゃない」とか、友達同士でこう見せ合って違うよ、っていうのがあって、そこでだいがまた触るとかよく見るっていうのができたかなって感じ。

あとは、そこからもう先に行きたい子は行きたいから、もうイチゴはいいかな？と思ってスルーしようとしたら、先生が見つけてくれて、「じゃあ、食べてみる？」っていうところから。もうあんまりなくて、「1人1つあるかな～？」「白チームさんもいるからね～」って言ってたけど、まあまああったから1つずつ食べてもらったら、やっぱり美味しかったみたいで、それから実を見つけるたびに「これは食べれるか」「あれは食べれるか」「これはちょっと食べれないね」って言いながら、実は潰して色つけをしたりとかして。1個やってみると、「これはどうだ」って、なんか色々ね、いっぱい色をね、こう集めてくれて。初め実で色をつけて、「実は草でも出るんだよ」って言ってやったら、本当にとにかく木とかでも、石とか

とも:試したいんだね。

まこ:そうそう。こすったりして。とりあえずやってみるっていうのが、なんか楽しかったみたいで。だから、なかなか本当進めなくて。だから「オオバコの実だね」っていうのと、「くつき虫の実だ」とか、そこら辺のイネ科の実がやっぱ目につくから。あとは、イヌタデをほぐしたりして、ご飯とかやったり、

とも:もうすごいなんか、ごっこ遊びが広がった班だよ

まこ:そう。ごっこ遊びが割と。葉っぱのお皿にした上に、「あ、じゃあちょっとふりかけください」とかって言うと、なんか黄色い葉っぱを見つけてきて、ポロポロやってくれたりして。あと、ペラペラのクリで 1 個スプーンを作ったのね。そしたらもう、それですくって「どうぞ」みたいなのかなとか。

とも:広がるね、ままごとが。

まこ:そうそう。ここでちょっと遊んでたかな。あとは、本当に発見って感じで。あれ見て、これ見てって感じで。くつき虫を投げたりとか、あのススキを投げたりとか。やっぱ実を食べると、葉っぱを食べた子はスイバの葉っぱを食べた。「食べていい？」って言うから。ま、食べれる。これはね、食べてもいい。ほんとに、青々と綺麗で、もうほうれん草かのように。あっちのもう茶色しかないようなところに、それだけがこう、ささーってあって。だからそれ、3 人ぐらい食べて結局。男子も食べて。先生が「ふだん土とかも触らない子なんですよ。」って言って、「なんかもう手についたらすぐに洗いたいタイプなのに、今日はなんかすごい、色々触ったりできました。」って言って。葉っぱも食べて。「もうやめて」って言って私が。「あんまりね、たくさん食べるとね、強いからね。」って言って。

とも:気に入っちゃったの。

まこ:そう。だから、色々匂いを嗅いでみる。食べてみる。なんか拾ってみるとか。「赤いのはとりあえず触っていいから聞いて」って言って。色々な挑戦はできたかな。自然に出た遊びは、さっきの「音が鳴るよ」とか、あと、散らして種飛ばしとか、その種飛んだのをキャッチするとか。あとは最後ね、チームの振り返りしようかなって時に切り上げちゃったから、チームでちゃんとした振り返りがまだこれからだったんだけど、でもね、もうちょっと本当お腹空いてたからね、「あ、もうそれならそれでいいや」と思って。最後先生とちらっと喋った時に、「普段偏食の男子があんなふうに食べたりするのがすごいびっくりした。」って言って。こういうところに来ると、なんか雰囲気なのか、食べれたり、積極的にできたんですよね。よかった

ですって言うてくれて。近くだね、自分ちの近くとかでもやってくれたらいいですって先生にお伝えしたんですけど。あっ、そう、あと石積みから釜戸になって、薪をくべるとか、

ともちゃん:バーベキューごっこねー。

まこ:そうそうそう、枝に葉っぱを刺したのを持って行って、「バーベキューです。」って言ったら、そっからちょっと広がってったかなーって感じで。

ともちゃん:あの葉っぱで鳥の鳴き声?もすごい素敵だよね。

まこ:びっくりした。あれね、昨日たまたまじゅんじゅんが鳴るって聞かせてくれて。私、手がカッサカサだからか、あんまり鳴らなくて。で、力加減が確かに難しい。ちぎれちゃうし。そう、ほんとにあの絶妙な

ともちゃん:撫でるぐらいじゃ全然ダメだから、結構強めにやってちぎれないように。

まこ:そう。だから、あれ結構やりたがって、他の子も。やっぱ難しく、力加減を教えられないし、「難しいね。」で終わっちゃったんだけど。

ともちゃん:あのできてた子はもうね、すごい体得してるよね、

まこ:すごいびっくりした、だから。先生も感性が豊かな子だって言うて、結構いろんな発見をしてくれるからそこを広げたりとかして。

ともちゃん:楽しみの子がいるなあ。ありがとうございます。

白は結構ぐいぐい動いて、「もう探検したい探検したい」という子が多い。だけど、見つけたら園長先生や私に共感してほしいというアピールが強い子が多くて。でもそれが、すごい人を押しつけてまでぐいぐいじゃない感じの、グループで共有するっていうのがすごい、お互い認め合ってる感じだったので、友達を誘って「見てみてー」とやってるし、関係性がなんか面白い子たちで。ついてくださった園長先生もすごく興味を広めてくださる方だったので。こういう時って結構私が先頭でお話していると、ただ後ろで見守っているみたいな方が多かたりするんだけど、一緒に子どもたちに問いかけして下さったりとか、園長先生もすごい色々見つけたことを周りのみんなに言って、一緒にやってくださったので、子どもたちもすごい興味が広がって。「黄色い葉っぱの形が手袋みたい。」とかそういうことを言うことで、子どもたちも「じゃあ、同じ葉っぱがあるか」とか、「自分が持つてる葉っぱは全然形が違うし、色も違う」とか。そういう、あえて葉っぱじゃんけんにはしないで、先生がそうやって

手袋見たいとかって言ったことをみんなでおしゃべりするのがすごい楽しいグループでした。枝のこととか、最初の方に枝長いの持って振り回しちゃう子がいて、隣の子のトレーナーに当たっちゃったりとかっていう時に枝の話もできたし、石も、ね。石積みすんごい集中したんだけど、やっぱり「足の上に落としたら痛いよね」とか。その都度こう、注意点を言って、それをすごい吸収してくれる、本当に素直な子たちだったので、そこを注意してくれるし。1 番初めにトイレの向こうの穴が気になって、モグラの跡だとか色々言ってたのがイノシシっていう話をしてからが、もうずっとイノシシと出会うかっていう感じで、今日は一日イノシシデーだったんだけど。出会うかな、出会うかな、これもイノシシがやったなとか、この道イノシシ通るんじゃない？とか、もうすごい聞いたことに対する興味のアンテナがすごい感度が良い子たちだったので、面白かったです。

最後、トトロのところ楽しすぎてイチゴの裏までは行けなかったんですけど、ご飯のあとに園長先生が「ちょっとイチゴの方まで行ってみたいです。」って先生も興味を持ってくださったのがありがたいなと思いました。

袋も、ジップロックの袋の紐がちょっとちぎれちゃう子とかいたんですけど。でも、やっぱりあれに集めるっていう意識を持って参加してくれてたので、こんなに宝物見つかったとか、これを園に持ち帰って工作をしたいっていう子がいたりとか。結構これぐらいの子たちって、もうその場で興味が終わっちゃう場合も多いんだけど。あとカラスウリを 1 番初めに 1 人が見つけてその周りにあったのが高すぎて取れなかったんだけど、自分たちもどっかで絶対見つけてやるみたい。すごい強い気持ちで、全員が簡単に手に入らなかったことがその後すごいモチベーションになって。「絶対どっかで見つけてやる。」「絶対 1 個は持って帰るぞ」みたいなのが、うちの班は強くて、簡単に手に入らないってことも、それぞれの気持ちを強くしていいものなんだなと思いました。で、「1 つちょうだい」っていうのも、1 回伝えたらすぐみんな気にかけてくれるようになって。アオキの葉っぱ取る時とか、ガマズミの枝ちょっとずつ分ける時も、「1 つください。」「1 つください。」って言ってくれたり。お正月飾りを探しに来ていた方にもすごい懐っこくって、「ください。」とか、「ありがとう。」とかってコミュニケーションがとれていました。

この子たちならもうちょっと遊べたかな。でも、もうちょっと遊びたかったな～ぐらいがいいかもしれないですね。お腹すいて。先生も子どもたちもまた近くの公園でなんかしてみようかって思ってくれたら。ルートのにはまあ、頂上まで行かなくてもこれぐらいで良かったのかなって。それでも「山登りした」って子どもたちが言ってたので、普段平らのところで生活してれば、これでも山登りって思ってくれるんだなっていう感じで。

ちょっとあれでしたね。11 時半の時に、まこさんのグループの振り返りが終わってるかっていう確認を私が一言かければよかったね。それが抜けちゃったね。

まこ：もうなんかグダグダしちゃってたからね。あ、もういいかな？て思って。なんか色々言い

ながらは帰ってきたから。ちょっと向こうでもう山から降りてきた時にあれ見たねこれ見たねって言いながら帰ってきたし。

ともちゃん:ありがとうございます。少人数だったので、臨気応変に変えてもそんなに支障は出なかったの、ありがたかったって感じですね。

ともちゃん:ヒヤリハットとか、何か気を付けた方がいいとか、改善点とかなんかありますか？

まこ:ちょっと転んだりとかはあったけど、別にそんな怪我っていうわけでは。とにかく色々、キノコとかもいっぱい触ったから、とりあえず手を洗おうねって言って、すぐ触った後は流しました。それぐらいかな。

ともちゃん:お弁当を食べる前に手を洗ってくれたから、それでいいですかね。キノコすごい触りまくってました。白いのなんだー、茶色のなんだーって。

絵本もなんか知ってたんだね。また、絵本の大型絵本がもう1冊目ぐらい事務所にあるとありがたいかなあ。今日ぐらいだったら、まあ普通の絵本でもいいんだけど。

まこ:クラス数が多いときは、大型絵本があるとありがたいですね。

とも:びあのん見てて、気になることとか、改善点あれば教えてください。

びあのん:2グループともほのぼのしてて、すごいな～いいな～と思って見てました。子どもたちも素直な子だったし。園長先生に「素直に楽しめる子ばかりですね？」って聞いたら、やっぱり普段遊び込むことをしているみたいで、それがいいんだと思いますっていうのと、あと少人数がいいのかもしれないっておっしゃってました。ちょっと外れそうになった子もフォローできるし。

とも:少人数で目が行き届くのかな。担任の先生もお若そうだけど、柔軟で対応力ある感じに見受けられたので、素敵なクラスだなと思って。

まこ:ばーって行っちゃいそうになると、ちゃんと声かけてくれて。

びあのん:ねらいに関してはどうでしたか？私はすごくいい感じに向かっていけたかなと思うんですけど。

ともちゃん:葉っぱの色とか、匂いとか、手触りとか、栗のイガとか、エノコログサとか、普段公

園にあるものと、こういう森じゃないと出会えないようなものと、両方楽しんでくださったのはありがたいかな。クモは結構キャーキャー女子が言いましたね。

まこ: こっちはね、なんかクモも男の子が捕まえてくれて、カップに入れて、見ない子は見ないんだけど、見たい子はこう回して「足何本ある?」とか、「お顔はどこ?」とか言って、あとバツタとかも。あと、アリとテントウムシか。とにかく一度入れて、みんなで見て、「で、もう返してもいい?」って言って、みんなでバイバイして。一応「優しく返してあげようね」って言えば、優しく返してあげるし、「もう次に行くから逃がしてあげて」って言うと、子ども同士で、「ここに逃してくんだよ」みたいなのを言ってきて。なんか本当にやりやすかった。

ともちゃん: 成熟してるっていうか。なんか満たされてる感じがしましたね。気持ちの面。だから、落ち着いてるし、人の話も聞ける。こういう場所に来ると自分のアピールばかりしてくる子も普通いるんだけど。この後も遊びの広がりなんかを見せてくれるんじゃないかな、という期待があるね。

まこ: なんか私、のびのびと動くってところがあんまり時間がなくて。それこそ初めやってから行こうと思ったのに。

ともちゃん: ちょっと一緒に、準備運動とかしてもよかったね。

まこ: あ~ そうだね。そうなんだよ。計画的には、初めあそこで遊んでから上に上がって、こっちに降りてこようと思ってたのに。もう全然、初めから真逆にこっち来ちゃって。だから、発見はすごい楽しいんですね。この気になるものを発見する楽しさに気づくっていうのは、もうみんな本当に。「これはなんだ?」「これは食べれるか?」とかそういうので、「これ見て!」とか、これは本当できたんだけど、のびのびやったかっていうと、どうかな?

ともちゃん: でも、園の外にそうそう出てないから、もうこういうところで動いただけでも、非日常だったんじゃないかなと思うんですけどね。あの園長先生と担任の先生だったら、また近くの公園や園庭でも、遊びは広げられるスキルがあるような気がするんですけどね。園長先生が「戻ったら図鑑で調べようね」とか、そういう声かけをしてくださって。なんで、興味を持ったことを広げてくださるような環境や、そういう先生がいらっしゃるっていうのは、やっぱりあの子たちの何よりのすごい事だよ。で、名前とかを知ったら知ったで「え、なんでそんな名前なんだろう?」って、「なんでカラスってつくの?」とか、カラスウリにしても。「調べてみようね~」みたいな感じで、園長先生も促されてたので、興味を持ったことは、またそこを深めてもらえそうな環境なんだろうなっていうのは思ったかな。生き物にすごく親しんだり、愛でたかっていうと、そこまでは行けてない感じかな。

そういえば、朝の会が始まる時に木が大きいことをすごいね、「おっきい」って言ってくれたことが、なんか、すごいそういう気がついたことを感じて言葉にするっていうのが純朴な感じで、素直な子たちで。

まこ:そうそう、最後もね、それこそ石とかで暖炉ってやってた時に「おっきい～」って 1 人で言い始めて「何？何？」って言ったら、木のことだって。「じゃあちょっとみんなで囲んでみようよ」って言って、「囲めるかな」って言ったら、まあ 7 人だったから囲めて、で、「ちょっと触ってみよう」とか言ったら、それこそアリがいるとか、また見つけてくれて、感性豊かですよ。なんか、それぞれが色んなとこに気づいてくれるから。

—ありがとうございました—